

▼献血アルブミン静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】加熱人血漿蛋白 【分類】加熱人血漿蛋白

【単位】▼100mL (4.4%), ▼250mL (4.4%) 【特生物】

【常用量】1回 250～500mL, 投与速度は5～8mL/min 以下

【用法】静注, 点滴静注

【透析患者への投与方法】必要に応じて投与. Na 過負荷にも注意 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】必要に応じて投与. Na 過負荷にも注意 (5)

【特徴】アルブミンの喪失 (熱傷、ネフローゼ 症候群等) 及びアルブミン合成低下 (肝硬変症等) による低アルブミン血症、出血性ショックに適用。ヒト血漿蛋白を主成分とし 60℃で 10 時間加温してある。膠質浸透圧を上げ、組織水分を血管内に引き込むことにより循環血漿量を維持する。

【主な副作用・毒性】ショック、血圧低下、顔面紅、蕁麻疹、嘔気、頭痛など

【モニターすべき項目】血清 Al 濃度 (大量反復投与された腎障害患者)、血圧、肺動脈楔入圧 (U)

【t1/2】アルブミンの t1/2 は 21 日 (1)

【Vd】細胞外液全体に分布する ; 60%以上が血管外液分画に存在 (U)

【透析性】分子量が大きいため透析で除去されない (5)

【更新日】20141224

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。